

学校番号	106
------	-----

自己評価

地域交流部 教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクール制度に伴い、生徒が地域の中で所属感や一体感を味わい、地域社会の一員として生きていく自覚や自信を持つことができるよう、交流及び共同学習、地域社会と生徒が一体となった活動の推進を強化する。</li> <li>・生徒の健全な発達及び福祉の増進を図るため、保護者が主体的にPTA活動に取り組むことができるよう支援する。</li> </ul>
------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

評価する領域・分野	「保護者、地域との連携」
現状及びアンケートの結果分析等	・「6いろいろな人との交流を大切にし、生徒の経験を広めている」に当てはまる、やや当てはまるに89%、「33 地域との交流事業や地域の施設・人材を積極的に活用し、地域との連携強化を進めている」66%であった。
今年度の具体的かつ明確な重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の社会性や豊かな人間性の育成を目指し、交流及び共同学習を推進する。</li> <li>・役員や委員長と連携を図り、保護者の主体的なPTA活動を支援する。</li> </ul>
重点目標を達成するための校内組織体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流校や地域の自治会連合会との連絡調整をもとに、関係部署との連絡調整を行った。</li> <li>・PTA会長と相談しながら方向性を決め、役員へ意見を図りつつ活動を推進する。</li> <li>・PTAの専門委員会ごとに担当者を決め、委員長と連携を図りつつ活動を推進する。</li> </ul>
目標の達成に必要な具体的取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校間交流として、学校交流の計画・実施</li> <li>・地域交流として、地域の祭りや文化祭、清掃活動などの参加計画・実施</li> <li>・PTA役員や各専門委員長を中心としたPTA活動の計画立案・実施。</li> </ul>
達成度の判断・判定基準あるいは指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校間交流、地域交流を通し、生徒の社会性や豊かな人間性を育むことができたか。</li> <li>・主体的なPTA活動を推進することができたか。</li> </ul>
取組状況・実践内容等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岐阜城北高等学校の学校祭交流、芥見南みんなの祭、芥見南公民館文化祭への販売活動（予定）、芥見東公民館文化祭への作品展示等を計画実施。</li> <li>・地域での清掃ボランティア交流を2回実施。</li> <li>・PTA総会、役員会5回、執行部会2回、役員推薦委員会（予定）1回、各専門委員会活動3～4回程度実施。</li> </ul>

評価の視点	評価
①コミュニティスクール制度の視点に立ち、地域の自治会連合会長と相談・連絡を行い、行事を計画立案することができたか。	A (B) C D
②生徒の社会性や豊かな人間性の育成のための学校行事や学校間交流、地域交流に関する計画立案・実施ができたか。	A (B) C D
③主体的なPTA活動を推進するために保護者と連携を図ることができたか。	A (B) C D
成果・課題	総合評価
<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域の方と相談・連絡を取り合い、ほぼ計画通り行事を実施することができた。</li> <li>○学校間交流を通して、生徒の興味関心を広げ、積極性や自主性を伸ばすことができた。</li> <li>○地域交流を通して、生徒に、地域の中での一員としての役割や、地域の方々に支えていただいていることを実感させることができた。</li> <li>○PTA役員や各専門委員長と連携を図り、学校行事への協力や各委員会活動を推進することができた。</li> <li>▲実施計画の提示が遅れ、各部署への連絡調整が遅くなってしまった。</li> <li>▲地域行事への参加が、生徒にとって単発の行事になりがちであった。</li> <li>▲PTAの委員会では、職員が中心となって活動せざるを得ない委員会もあった。</li> </ul>	A (B) C D
来年度に向けての改善方策案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や他部署との連絡調整を遅らせないために、計画的に企画を行う。</li> <li>・地域行事へは、生徒の授業や生徒会、地域交流委員会などとさらに連携して参加していけるよう支援する。</li> <li>・より保護者が主体的に、意欲的に動けるようなPTA活動を支援していく。</li> </ul>

学校関係者評価 (令和2年2月27日実施)

意見・要望・評価等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校祭は大盛況で、生徒と教員、地域やPTAが共に活動し、多くの人に支えられていることが良く分かった。これからも続けてほしい。</li> <li>・学校があるおかげで地域が活性化している。開校3年目で、生徒たちを身近に感じられ、愛着が湧いている。</li> <li>・防災に関して、地域ぐるみで取り組んでいく必要がある。</li> </ul>
-----------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

